



「一面の続き」
 こころを伝えておられるし、心強いです。
 MSWの役割は？
 社会制度関係はMSWが主に担当しているが、医療的処置やケアが主で、医師の処方箋や検査結果などから適切な情報を調べながら対応している。退院支援看護師が別に配置されているため、薬剤関係の相談は看護師や該当部署に確認しながら対応している。利用できる制度があるか、国際がんセンターに相談できるか、メンターに相談できるか、ケアで紹介された治療ができるかなど幅広い相談に、適切な情報を調べながら対応している。

退院支援については、診療連携拠点病院が64施設あり、部会に関する事業のとりまとめを国際がんセンターが行っているため、その関連の業務も出てきます。現在は、外部の医療機関への調整や制度の利用支援などが主な役割となっています。他の医療機関からの情報照会もありません。

また、大阪府のがん診療連携拠点病院が64施設あり、部会に関する事業のとりまとめを国際がんセンターが行っているため、その関連の業務も出てきます。現在は、外部の医療機関への調整や制度の利用支援などが主な役割となっています。他の医療機関からの情報照会もありません。

「相談して気が楽になった」といわれる方が多いのは、困っている方なので、困難な状況だと相談して気が楽になることもあると思います。そんな時の気分転換話ができることもあります。話ができること、関係を築けること、家族の方から「来て良かった」「相談して気が楽になった」といわれることが、一番の励みになります。

「今日のメンバーは仲がいいし、短時間でも情報共有しあえるのが救いです。でも、基本的には相談に来られるのは、困っている方なので、困難な状況だと相談して気が楽になることもあると思います。そんな時の気分転換話ができることもあります。話ができること、関係を築けること、家族の方から「来て良かった」「相談して気が楽になった」といわれることが、一番の励みになります。」

「いつもこんな感じですか？」
 時間外は多くなっています。時間を見つけて年休を取ることも必要かと思いましたが、他の人に迷惑がかなうと思うと休めません。休みの日も仕事がありますか？
 部会のイベントでの相談支援センター啓発活動として、今年はい

「レフォーライフ大阪あさひやMSWのイベントがあり、ボランティアでの参加を希望しています。業務ではないですが、自己啓発の研修がほとんど毎週のようにあるため、参加しています。」

「より丁寧な対応ができる体制にしてほしい」
 職場改善に向けて、一番の要求はなんですか？
 さらには、患者や家族の

「より丁寧な対応ができる体制にしてほしい」
 職場改善に向けて、一番の要求はなんですか？
 さらには、患者や家族の

深夜3人勤務で安心して医療が提供できる体制に

はびきの医療センター支部
 小野美智代さん



「日頃仕事をしつこく休日も十分でない、とにかく忙しく、

10B病棟 肺腫瘍内科

- **職場・病棟の特徴**
 - 肺腫瘍内科・消化器内科・乳腺外科の混合病棟
 - ベッドコントロールの関係で皮膚科・呼吸器科・感染症内科の入院もある。
 - 42床、病室20室（4人部屋、2人部屋、個室）
 - 南河内地域のがん拠点病院で、それぞれの科の検査によるステージングと抗がん剤治療及びがん患者の終末期医療
- **スタッフについて**
 - 常勤看護師21人（現在、1人保育時間を利用）、非常勤看護師2人（準夜勤務のみ）
 - 常勤病棟婦1人
 - クラーク1人
- **勤務3交代**
 - 日勤：8時00分～16時30分
 - 準夜：16時00分～24時30分（3人）
 - 深夜：24時00分～8時30分（2人）
- **1回の勤務での残業時間数（平均）…3時間**
- **1回の勤務での休憩時間（昼休み）…30分**
- **1回の勤務における仕事の流れ（夜勤の場合）**
 - 申し送り
 - 認知症やせん妄患者が多く、異常行動、幻覚、興奮などがあるため巡視ははじめ対応が必要
 - 自分ではナースコールをできない患者のためのセンサーコールの対応が頻回

「10B病棟 肺腫瘍内科」
 今、病棟に来て3年目ですが、日勤時間帯含めには忙しいです。一日に定期入院が大抵6人、7人の入院があった日もありましたが、容態の変化や入退院の関係で、ベッド調整も頻繁に行わなければなりません。検査やケモの対応に人が必要で、他の患者の対応も調整して、スタッフは目一杯です。記録作成は時間外になり、毎日、20時以降も残るスタッフが多いです。末期がん患者も多く、(最期の)看取りも重なることが多く、やりきれない気持ちもありますが、家族が患者に会えた場合や痛みの軽減する援助ができた時は少しほっとします。たいてい感じて一日が過ぎます。

「患者にゆとりを、寄り添いたい、次々対応がある」
 「モニタリングシートに記載してもらった深夜勤務の特徴は？」
 大概のスタッフは勤務1時間前には出勤し、情報収集しています。午前1時～3時、5時の全体の巡視以外にも、随時の巡視や排せつ介助はじめナースコール(センサーコール)対応なども頻繁にあり、気が休めません。ゆとりが関係ない、落ち着かれない患者もいますが、ゆとりが足りないのが現実です。私は、深夜入りの日

「仕事はやりがいがある、なにか感じますか？」
 認知症やせん妄患者が多く、待つこともえづ自分のペースで取組むのが難しいので、患者だけでなく自分やスタッフが安全に過ごせるように、



小野さんのある一日

20:00	朝から家事等(仮眠などせず)	5:00	巡視(定時) ナースコール対応
21:00	睡眠(可能な限り)	6:00	検温 洗面
22:00	通勤 移動	7:00	他病棟から応援してもらった場合も
23:00	着替、情報収集	8:00	血糖値検査 インシュリン 朝食セッティング 申し送り
0:00	巡視	9:00	記録作成
1:00	ナースコール対応	10:00	退勤 移動 帰宅 食事
2:00	巡視(定時) カルテ整理 ナースコール対応	11:00	家事
3:00	頻回あるナースコール対応	12:00	睡眠
4:00	巡視(定時) ナースコール対応 翌日の検査のチェック	13:00	買い物
5:00	休憩(とれたら)	14:00	家事

患者の状況に応じた対応ができる体制に

急務時医療センター支部
 木村 明美さん



「生活面での介助が多く、丁寧に対応が必要」

「急務時医療センター支部」
 生活面での介助が多く、丁寧に対応が必要。日頃仕事をしつこく休日も十分でない、とにかく忙しく、

「生活面での介助が多く、丁寧に対応が必要」
 生活面での介助が多く、丁寧に対応が必要。日頃仕事をしつこく休日も十分でない、とにかく忙しく、

「生活面での介助が多く、丁寧に対応が必要」
 生活面での介助が多く、丁寧に対応が必要。日頃仕事をしつこく休日も十分でない、とにかく忙しく、

18:00	日勤勤務終了	6:00	体転、呼吸器2人
19:00	買い物	7:00	体転、呼吸器(夜間のみ)外食 食事のセッティング 食前薬とろみつけて介助 配膳
20:00	帰宅・夕食準備	8:00	食事介助(11人の内2人分)
21:00	入浴	9:00	全体申し送り チームへの申し送り 呼吸器チェック(日勤と)
22:00	洗濯	10:00	深夜の記録開始 患者対応のカンファレンス
23:00	仮眠	11:00	記録再開
0:00	起床 職場へ	12:00	患者対応について相談
1:00	職場到着	13:00	記録終了、勤務終了
2:00	全体申し送り チームごと申し送り 呼吸器チェック	14:00	買い物
3:00	吸引コール 朝の内服戻り10分	15:00	自宅へ 洗濯
4:00	点滴追加1人	16:00	夕食の準備
5:00	体位転換、巡視	17:00	テレビ
6:00	点滴追加1人	18:00	保育所へ迎え おふるの準備
7:00	休憩		
8:00	車イスでトイレ介助		
9:00	点滴2人、導尿		

木村さんのある一日

